

HANAGOCORO

花
と
ろ

—宇都宮市花と緑の
まちづくり推進協議会だより—

題字：佐藤栄一

2018 Vol.35

冬号
WINTER

ヒヤシンス（ろまんちっく村）
写真：黒川敏春

特集

- ・花を育てる高校生～宇都宮白楊高校～
- ・ちょいグリーン
- ・花と緑のフェスティバルうつのみや2017
～夢いっぱい 花いっぱい 咲けば愉快だ宇都宮～

発行：宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会
〒320-8540

栃木県宇都宮市旭1-1-5（宇都宮市都市整備部緑のまちづくり課内）

花緑協議会ホームページURL <http://www.utsunomiya-hanamidori.jp>



花を育てる高校生

～宇都宮白楊高校～

冬の鉢植えを代表する花「シクラメン」。贈り物としても大変人気の花ですが、販売されているシクラメンが美しい姿かたちになるには、生産過程で多くの手間暇がかかっているのをご存じですか？

今回は宇都宮市内で唯一の農業高校、未来の花のスペシャリストを育成する「宇都宮白楊高校」の活動をご紹介します。農業経営科3年草花分会では毎年シクラメンの栽培を行っています。

花を育てる高校生！花を愛する高校生の活動を見てみましょう！！

～草花分会のお仕事～

11月中旬…播種（種まき）

白楊高では、種からシクラメン栽培を行っています。まずはセルトレイに種2,000粒を1つ1つ手作業でまきます。シクラメンは暗発芽種子のため、18～20度に保った暗室に置き、乾いたら水やりをします。

12月中旬…発 芽

発芽したら温室に移し、日を当てます。水をやる代わりに、リン酸の比率の高い液肥を薄めて与えます。

3～4月…鉢 上 げ

本葉が3～4枚になったら、3号ポットに鉢上げを行います。

5～7月…鉢 替 え

成長具合に合わせて鉢替えを行います。根腐れを起こさないよう、徐々に鉢を大きくします。

8～10月…葉 組 み

シクラメンは葉の数と同じだけ花芽が出ると言われているため、日を当てて葉数を増やすことが大切です。葉が茂ってくると、芽点に日が当たりにくくなるため、株の中央部の葉を放射状に分ける作業をします。さらに、分けた葉の向きをそろえ、蕾や花を中心に寄せる作業も同時に行います。葉が増えるにつれ、葉組みにかかる時間も増えますが、皆さんに喜ばれる花になるように、愛情込めて1鉢1鉢手作業で行っています。

11月中旬…出 荷

（白楊祭で販売しました）

白楊祭では、生徒たちが種をまき、水をやり、肥料を与え、13か月育てたシクラメンを販売しています。シクラメンは「うつむき加減に咲く」ところから、「遠慮深い・つつましい」と言われていますが、白楊高の水を飲み、宇都宮の気候風土になじみ、元気な姿になりました。是非、毎年11月に開催される、白楊祭に足を運んでシクラメンをご覧ください。

☆ワンポイント☆

花を長く楽しむために

- ① 置き場所
日当たりの良い部屋でガラス越しに日を当て、日差しの強い時には、レースカーテンをしてください。また、玄関など日当たりの悪い場所に置くときには、週2～3日は、日に当てるようにしてください。ただし、この時に強い光に当てないように注意しましょう。
- ② 水やり
鉢の乾燥状態に合わせて2～4日おきにたっぷりと与えてください。また、水はなるべく葉や花にかけないように注意し、受け皿の水は溜めずに捨てましょう。
- ③ 手入れ
咲き終わった花は、花茎の中程をもち、回しながら上に引き上げ、抜き取ります。枯れた葉はできるだけすみやかに取り除きますが、茎が残らないように根元からきれいに取りましょう。
- ④ 肥料
生育期間中、肥料を切らすことがないように、市販の粒状、または液体肥料を適宜与えてください。



手作業で葉を放射状に分けます

葉組みをした苗

葉組みしていない苗





まちの素敵な 緑のスポット

ちょいグリーン

皆さんからの情報をお待ちしております。情報は事務局まで！



今回は、新里町の「café 花のん (カフェ カノン)」さんをご紹介します。通りから奥に入った、ちょっと見つけにくい場所にあるこちらは、絵本から抜け出したような素敵なログハウスと手入れの行き届いた庭が魅力の隠れ家のようなカフェ。木の温もり溢れる店内では、庭の景色を眺めながら手作りのパンやスイーツ、ランチを味わうことができます。このカフェを営むのは、大島正久さん、百合子さんご夫妻。9年ほど前にこちらに念願のログハウスを建てたのを機にこつこつと庭づくりを始め、現在ではこの庭を目当てに来店する人が多くなったそうです。

「花の中でもバラが特に好きです」と正久さんが話す通り、庭にはたくさんのバラが育てられています。見頃は、5月下旬から6月。薄いピンク色と白色のグラデーションが美しい「ピエール・ドゥ・ロンサール」と、フリルのような白色の花弁が魅力の「サマースノー」が咲き誇るツルバラのアーチをはじめ、店名の由来となった「花音」や「ロイヤル・サンセット」など様々な品種が華やかな香りとともに訪れる人を楽しませてくれます。

バラのほかに、桃やサクランボ、ブルーネ、リンゴといった果樹も育てて



ピエール・ドゥ・ロンサール



サマースノー



花音



ロイヤル・サンセット



おり、熟した果実は収穫しカフェのメニューに取り入れることもあるとのこと。目でも舌でも季節を堪能できる心豊かな時間を過ごすことができます。

「嬉しいことに、カフェにいらしたお客さまが庭に咲いている花をきっかけに声を掛けてくださることがたくさんあります。庭って、普段無口な人も自然に

会話をしたくなるような魅力があるのではないのかなと思っています」と百合子さん。

冬は、薪ストーブに火を灯して暖かくした店内で、野鳥のさえずりや薪のはぜる音に耳を傾ける癒しのひと時が過ごせ、花の季節とはひと味違う自然を満喫できます。2月頃になると、フクジュソウが春の訪れを告げるのを皮切りに、梅、桃、クレマチス、ラベンダーなど様々な花が咲き始めるとのこと。足を運ぶたびに違った庭の表情を楽しめそうです。



取材協力

「café 花のん (カフェ カノン)」

宇都宮市新里町丁1609-56
TEL 028-665-7388



花と緑のフェスティバル

うつのみや 2017 17th

夢いっぱい 花いっぱい 咲けば愉快だ守都宮

ロゴデザイン：宇都宮メディア・アーツ専門学校 ビジュアルデザイン科1年 吉田 日菜衣さん



活動報告

平成29年10月7日(土)、宇都宮城址公園において、「花と緑のフェスティバルうつのみや2017」を開催しました。朝のうちは曇り空でしたが、午後には青空が広がり、絶好のイベント日和となりました。

会場は、花や緑に関する体験ブースや展示ブース、苗木や花苗の無料配布、焼きそばやお好み焼き等の飲食ブースなど、たくさんのテントで賑わいました。中央ステージは、花と緑のまちづくり功労者や自然に親しむ絵画コンクールの表彰式、ダンスやバルーンパフォーマンス、



秋バラの講習会などのイベントで盛り上がりました。毎年大人気の寄せ植えコンテストは入り口付近に場所を移し、よりたくさんの来場者に楽しんでいただきました。

今年度は、会場前に設置されたウェルカムガーデンや、ずらりと並んだハンギングバスケットの展示即売会、多種多様な山野草の展示など、例年以上に会場を花と緑で彩りました。

多くの人が花や緑に親しみ、笑顔溢れるフェスティバルとなりました。ご協力、ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

寄せ植えコンテスト入賞者

一般部門

最優秀賞

大橋 正樹さん

優秀賞

小林 順子さん

学生部門

最優秀賞

大橋 夏美さん

優秀賞

針ヶ谷 梨菜さん

親子部門

最優秀賞

牛久 由美子さん・愛梨ちゃん

優秀賞

海藤 知子さん・那奈ちゃん

大橋正樹さんの作品



大橋夏美さんの作品



牛久由美子さん・愛梨ちゃん



おめでとうございます



視察研修会

10月14日

ガーデン」や、学生ガーデン「MachiNiwa」など、来場者を楽しませる展示が並んでいました。メインの展示物だけでなく、駐車場や沿路にも見事な花壇が並び、移動中も来場者を楽しませてくれました。



大きなフラワーウォールの前で
記念撮影

視察先 ・全国都市緑化はちおうじフェア

・富士森公園(メイン会場)、道の駅八王子滝山(サテライト会場)

今年度は、東京都八王子市で行われている「全国都市緑化はちおうじフェア」を視察しました。

メイン会場である富士森公園では、都市緑化フェア推進室長の佐藤さまに会場内を案内していただきました。

1200人の市民が植えた100種のペチュニアが八王子の歴史と共に並ぶ大規模なものでした。会場中央には多摩地区の魅力をアピールする「はちむすびガーデン」があり、

数字の8の字型にマリーゴールドを中心とした花壇が広がっていました。その他にも、ガーデンデザイナーや造園業者が作った個性豊かな箱庭「アウトドアリビング

富士森公園を楽しんだ後は、サテライト会場である道の駅八王子滝山に足を運び、地元の特産品などをお土産に、帰路につきました。

様々なコンセプトの庭や花壇から刺激を受け、今後の活動に生かせる視察研修になりました。



見事な花壇が広がります。



八王子の歴史と共に巡る
「アーカイブガーデン」



多摩地区の市町村を紹介する
「はちむすびガーデン」



箱庭が並ぶ
「アウトドアリビングガーデン」



園芸研究家

山さんの花コラム

テーマ

フジ(藤)



私は色違いのフジ盆栽を3鉢ほど持っていますが、まずその速成仕立てを紹介します。

冬のうちにヤマフジの蔓を太さ3~4cm、長さ30~40cmにカットした丸太を土に埋めておきます。接ぎ穂のフジの芽が膨らみ始める直前に、丸太を掘り出して頂点に2~3本接ぎ木をし、深めの鉢に赤玉土などで挿し木するのです。接ぎ木部分を保護して鉢ごとポリ袋で覆い、半日陰におきます。

新葉が数枚展開すれば、ほぼ活着ですから少しずつ

換気して日当たりに移動します。発根はやや遅れます。高い湿度の中ですから、接ぎ木の合わせがよほど劣悪でない限り失敗することはありません。運が良ければ翌年、普通でも翌々年には花がみられます。一挙に古木を狙って丸太が太すぎると、切り口がふさがらず、後年腐敗の原因になります。



原種は、日本に多湿を好み花穂の長いフジと短いヤマフジ、中国と米国には乾燥に強く花穂の短いシナフジ、アメリカフジがあり、米国ではシナフジの植栽が普通のようなのです。

日本には藤のつく名字が多く、家紋にもよく見られるように、梅や桜などよりもはるかに古い時代から、花とともに藤蔓皮の繊維が庶民の衣服の材料として生活に深くかかわってきたといわれます。日光を求めて他樹を覆い尽くす生命力は、千年を越すとされる古木も現存しており、花とともにいろいろな方向から鑑賞してみたいものです。

山さんご紹介

山中昭雄氏

園芸研究家。宇都宮市在住。

花緑協議会 会員紹介 第30回 宇都宮市岩曽団地自治会



岩曽団地自治会は、会員数230世帯から構成され、地区体育協会支部と子ども会が結成されております。平成26年、白沢街道と国道4号線を結ぶ東西の道路が完成し、この道路を「岩曽中通り」との愛称で呼ぶことになりました。

道路が開通したことにより、自治会内の住宅風景が美しく感じられるようになりました。この道路は、自治会の中心部を通ることから、歩道に季節の花を植え、ごみの無い、いつでも散歩が楽しめる通りにしようとの機運が高まり、宇都宮市から街路樹の植栽柵30か所の使用許可を得ました。

子ども会の5、6年生と保護者を中心に花いっぱい活動が発足。自治会を3グループに区分して協力体制を作り、平成26年から5、7、10月の年3回の活動を始めました。花の種類や構成は子どもたちが考え、花壇の手入れ、肥料および水やりは自治会有志が担当しています。また、道路に面した病院やコンビニ店からも水道水の協力をいただいております。

地域一丸となつての花いっぱい活動により、岩曽中通りには、通年、色とりどりの花を咲かせております。このためか、ごみやペットのフンもなく、水やりしていると散歩中の方々から感謝の言葉をいただいております。これからも花いっぱい活動を続けながら、皆様に愛される歩道にしていきたいと思ひます。



花緑情報カレンダー

1 月

花いっぱい協賛事業 (春の部)

会員が地域で行う緑化活動を助成し、花や緑いっぱいのまちづくりを応援します！
申込み受付を開始しておりますのでご応募お待ちしております。

2 月

2月4日(日)

会員研修

「ハーブのある素敵な暮らし～ハーブの育て方と利活用～」

講師：マロニエハーブスクール

代表 葛山 幸子

時間：午前 10 時～正午

場所：宇都宮市役所 14 階

14 大会議室

2月下旬

パンジー・ビオラで 花いっぱい!

福祉施設で生産した花苗を会員の皆さまに配布します。

地域の緑化に役立ててください。

※申込期限は1月19日(金)です。

編集後記

シクラメンを育て始めました。最初の頃は真っ直ぐだったのに、だんだん斜めや横から生えてきたり、お花に色々な性格があるように見えて面白いですね。(がさ)

寒さが厳しくなって、我が家のサボテンもしなびています…。早く春にならないかなあ。(タカ)

P2で紹介された、花を長く楽しむためのワンポイント。毎年シクラメンを育てている母に教えようと思います！(いの)

「充電式湯たんぽ」なる優れものを購入しました。電気あんかと違い充電式で、お湯の取替えも不要！オススメです。(おぐ)

冬号 花緑クイズ

正解者5名の方に「2,000円分の花と緑のギフト券」をプレゼント。奮ってご応募ください！(応募者多数の場合は抽選)

間違いの数はいくつあるでしょうか？

①3つ ②4つ ③5つ

応募方法：①クイズの答え、②住所、③氏名、④電話番号、⑤「花ごころ」を読んだ感想をご記入の上、「〒320-8540 緑のまちづくり課内 花緑協議会事務局」あてに、ハガキ、FAX、Eメールでお送りください。平成30年6月末日締め切り。

※当選者発表は、発送をもって代えさせていただきます。



クイズ制作者：宇都宮メディア・アーツ専門学校 ビジュアルデザイン科1年 岩岡 麻緒さん

まちも、心も、花いっぱい!

花緑協議会会員募集中 事務局まで

会員数

151 団体
234 個人

(平成29年12月末現在)

会員特典

- ① 花苗の提供を受けられます。
- ② フェスティバルへのブース出展や、視察研修会などに参加できます。
- ③ 花いっぱいの緑化活動への助成が受けられます。
- ④ 会報誌など、各種情報の提供を受けられます。

年会費

団体会員⇒ 3,000円 個人会員⇒ 1,000円

問い合わせ先

〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1-1-5

宇都宮市都市整備部緑のまちづくり課内

宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会事務局

TEL 028-632-2593

FAX 028-632-5219

Eメール: info@utsunomiya-hanamidori.jp

土・日・祝を除く
8:30~17:15

花ごころは年2回(夏号・冬号)発行しています。

この会報誌は、再生紙を使用しています。